

正負の数 ③ 減法（ひき算）

中学1年生・数学 / 第1章 正負の数 / 難易度：標準

今日のポイント

1. 減法と「差」

ひき算のこと。その答えを差という。減法はそのまま引かず、加法に直して計算するのがコツ。

2. 減法は加法に直す（最重要ルール）

「ひく」＝「反対の数をたす」。引く数の符号を変えて、たし算にする。

$$a - b = a + (-b)$$

- $(+5) - (+3) = (+5) + (-3) = +2$
- $(+5) - (-3) = (+5) + (+3) = +8$ ← 「-をひく」は「+をたす」
- $(-4) - (-6) = (-4) + (+6) = +2$

3. 計算の手順（2ステップ）

- ① ひき算を「+（反対の数）」に直す（引く数だけ符号を変える）
- ② あとは加法のルール（同符号はたす・異符号はひく）で計算する

4. かっこの外し方（符号の組み合わせ）

形	外すと	例
$+(+a)$	$+a$	$3+(+5)=3+5$
$+(-a)$	$-a$	$3+(-5)=3-5$
$-(+a)$	$-a$	$3-(+5)=3-5$
$-(-a)$	$+a$	$3-(-5)=3+5$

「同じ符号どうし→+、ちがう符号どうし→-」と覚える。

5. 加法と減法の混合

かっこを外して「符号+数」のまとまり（項）を並べ、+どうし・-どうしをまとめて計算する。

$$\bullet (-2) - (-7) + (-4) = -2 + 7 - 4 = +1$$

よくあるミス

- $-(-3)$ を -3 にしてしまう：✗ → ○ $+3$ （-をひくは+をたす）
- 引かれる数の符号まで変えてしまう → 変えるのは「引く数」だけ。
- $(+5) - (-3)$ を $+2$ にしてしまう → $+5 + 3 = +8$ 。

例題

例題1 $(+7)-(+2)$

解答：**+5**

解説： $(+7)+(-2)$ に直す。異符号、大きいのは7 (+)、 $7-2=5$ 。

例題2 $(+4)-(+9)$

解答：**-5**

解説： $(+4)+(-9)$ に直す。異符号、大きいのは9 (-)、 $9-4=5$ 。

例題3 $(-3)-(+5)$

解答：**-8**

解説： $(-3)+(-5)$ に直す。同符号 (-)、 $3+5=8$ 、符号-。

例題4 $(+6)-(-2)$

解答：**+8**

解説：「-をひく」は「+をたす」。 $(+6)+(+2)$ に直す。同符号 (+)、 $6+2=8$ 。

例題5 $(-5)-(-8)$

解答：**+3**

解説： $(-5)+(+8)$ に直す。異符号、大きいのは8 (+)、 $8-5=3$ 。

例題6 $(-2)-(-7)+(-4)$ <加法・減法の混合>

解答：**+1**

解説：かっこを外すと $-2+7-4$ 。+どうし・-どうしを整理： $+7$ と $(-2-4=-6)$ 。 $+7+(-6)=+1$ 。